



# 金透小



令和7年 4月10日(木) 学校だよりNo.3

発行責任者 校長 嶋 忠夫

## 子どもたち、みんながんばっています!

新年度がスタートして、まもなく1週間になりますが、どの学級からも子どもたちの元気な声が聞こえてきます。子どもたちからは、今年もがんばるぞという意欲が感じられます。とてもいいスタートです。子どもたちのこの意欲が継続していけるよう、ご家庭でも励ましをお願いします。

### すごくいい話 !!

昨日の夕方のごことです。学校に女性の方からお電話をいただきました。その内容は、次のようなお話でした。

今日の夕方、如宝寺の前で、瀕死の猫を見つけました。もう、死んでしまうのを待つばかりで、自分たちはどうすることもできませんでした。

そこに、6年生ぐらいの女の子が4人来て、「私が水をもってきます」と言って水をもってきたり、保護猫を飼っているという近所の方を連れてきたりと、4人で分担して一生懸命動いてくれました。

その猫は、保護猫を飼っている方が、病院に連れて行ってくださいましたが、結局は、亡くなってしまったそうです。でも、金透小の子どもたちのおかげで、その猫も、最期にいろんな人に看取られて、うれしかったのではないかと思います。私たちは、なんてやさしい子どもたちなのだろうと感心しました。こんなやさしい子どもたちがたくさんいる金透小学校は、とてもすてきな学校だと思いました。ぜひ、このことを知っていただきたく、遅い時間でしたがお電話をいたしました。

今日、6年生に聞いてみますと、その4人は、6年〇組の〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、6年〇組の〇〇〇〇さんでした。4人の6年生から話を聞くと、女性の方2人が道路で何かをしていたので、「大丈夫ですか」と声をかけたら、元気のない猫がいて、何とかしてあげたいと思って、水をもってきたり、おばあちゃんに話をし猫の食べやすいご飯をもってきたりしたとのこと。保護猫を飼っている近所の方に来ていただき、病院に連れて行ってもらったけど、交通事故に遭っていたようでご飯も食べられず、亡くなってしまったとのことでした。

小さな、小さな生命を何とかしてあげたいというやさしい思いをもって、自分たちで考え、自分たちで積極的に行動した、〇〇さん、〇〇さん、〇〇さん、〇〇さんの行動は、本当に立派でした。

自分や友達の生命を大切にすることを、常に話してきましたが、それ以上に、生きとし生けるものの生命を大切にしようとする子どもたちに、涙するぐらい感動しました。金透小学校の子どもたちは、私の自慢です。



<やさしいいっぱい6年生の皆さん>